

アカネズミ

目が大きく、背側が明るい赤茶色で名前の通り赤味がかり、腹側の毛や手足の甲が白色です。若いと少し黒っぽく見えることがあります。幼いアカネズミは大人のヒメネズミと識別するのが難しく、体の各部分の長さの割合や頭の骨の一部の形などから区別します。

森林で生活し、木の上でも活動しますが、活動の中心はもっぱら地面の上です。日没から日の出まで活動する完全な夜行性です。

食べ物は、春は軟らかい草、夏は虫、秋は植物の種や実、冬は根というように、季節によって変わります。ドングリやブナなどの実を好み、石の下などに集める習性があります。

子供を生む回数は、低地では春と秋の2回で、高い山では夏1回型になると考えられています。子供の数は母親の体重に関していて、大きな個体ほど出産する子供の数は多くなります。



富士市での現状

低い土地からやや高い山、または高い山まで広くいると言われています。静岡県内では海岸部から富士山頂で捕まえた記録があります。富士市内では、広い範囲で確認できました。

アカネズミを確認したメッシュ

